

えべおつ商工会報



2024.3.11

発行・冬号

<https://ebeotsu.jp>

江部乙商工会

〒079-0462 滝川市江部乙町西12丁目1番15号

TEL 0125-75-2529/FAX 0125-75-6332/E-mail ebeotsu@rose.ocn.ne.jp

とつても え〜べ〜！オツなくらし

困ったなァ〜と思ったら……まずあなたのための商工会へ！

令和6年 年頭のごあいさつ！

江部乙商工会

会長 船 奥 保

Tamotsu Funaoku



令和6年の新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

新しい年は思いもよらぬ痛ましい災害と事故で始まってしまいました。元日の夕方、石川県能登地方を震源とする大地震が発生し、多くの尊い命が奪われました。未だ復興が進まず避難生活を強いられている方も多数に上っています。翌2日には海上保安庁の輸送機と日本航空の旅客機の衝突事故により、被災地への物資輸送の任務に当たっていた職員5人が亡くなりました。地震災害と航空機事故で犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、去年は3年余り続いた新型コロナウイルスが5類に移行し、経済の正常化が進み、観光業等を中心に緩やかな景気の回復が進むなど、明るい兆しが見られました。

しかしながら、長引く円安や先の見えない戦争などによる物価高やエネルギー価格の高騰、構造的な

人手不足等、多くの中小企業・小規模事業者の皆さまは引き続き厳しい1年でもありました。

国が推し進める賃上げトレンドに乗り遅れることなく、様々な経営課題を乗り越え、事業を成長させるには果敢な挑戦が重要となります。

当商工会におきましては、事業者に寄り添う「伴走型支援」を着実に進めるとともに、江部乙地域に暮らす皆様の利便性低下を招かないようためにも事業承継など事業継続を図るきめ細かい支援など、会員皆様のチャレンジ精神を後押しし、皆様の希望の実現へ向けて全力でサポートしていく所存です。

江部乙地域では「菜の花まつり」や当商工会主催の「カヤギニまつり」の完全復活で賑わいが戻ってきましたし、江部乙中学校跡地には宇宙産業に参入すべく北大発のベンチャー企業が進出するなど明るい話題もあります。

今年1年が皆様にとって飛躍の年になりますようご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

貯蓄共済・会員福祉共済加入のお願い！

今年度、当商工会が共済事業重点推進商工会（全道5商工会）に選定され、貯蓄共済に関して早期達成目標をクリアしたところです。本共済事業は会員企業が事業を継続するための経営支援、課題解決の手段のひとつとなるものですので、会員の皆様には引き続き加入の検討をお願いいたします。担当職員が説明に伺いますのでご一報ください。

会員の脱退をお知らせします

次の事業所が廃業により脱退されたのでお知らせします。

脱退事業所名 村上理容院

令和5年11月30日脱退（廃業）

江部乙商工会館改修に係る寄付及び工事について

この度は、当商工会館の改修工事へのご寄付を賜りありがとうございます。皆様から約80万円の寄付をお寄せいただいたところですが、雨漏りの応急処置を行い、雪どけを待って屋上並びに外壁の防水塗装工事を行う予定となっておりますのでお知らせします。

会員増強運動実施中！

商工会を安定的に運営するためには会員の増強が欠かせません。

お取引先やお知り合いの方で入会希望の方、未加入の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

商 工会活動から

4年ぶりに江部乙商工会新年交礼会を開催しました！

1月24日（水）、農村環境改善センターにおいて、江部乙商工会・滝川地方法人会江部乙支部合同の新年交礼会を開催しました。

新型コロナの影響で4年ぶりの開催となった今回の新年交礼会には、滝川市の中島副市長をはじめ水口道議会議員ほかご来賓や商工会・法人会江部乙支部会員約40名が出席しました。

冒頭、当商工会の船奥会長が挨拶に立ち、能登半島地震について「被災された皆様へお悔やみとお見舞いを申し上げる。一日も早い復興をお祈り申し上げます」と述べたあと、新年の飛躍に向けて決意を新たにしました。

新江竜商工会連携協議会の伊藤会長（新十津川町商工会長）の乾杯で祝宴がスタートし、参加者は和やかなひとときを過ごしました。



事業主の皆さまへ

働き方改革は進んでいますか？

ここに注目して「働き方改革」を！

「働き方改革」は法律の整備や施策の推進を通じて進められており、労働者の雇用環境や待遇の改善に向けた取り組みが進行中です！

- 1 男性の育児休業促進
- 2 生産性向上（割増賃金率引き上げ）
- 3 時間外労働の特例廃止
- 4 勤務時間インターバル制度
- 5 ハラスメントの防止
- 6 同一労働同一賃金

滝川市飲食店応援プレミアムチケット 完売のお知らせ！

当商工会でも販売を行っていた滝川市飲食店応援プレミアムチケットは完売しました。6月30日（日）が使用期限となっていますので期限切れにご注意ください。

北門信用金庫江部乙支店の形態が変わります！

本年4月1日より、江部乙支店は「本店」を母店とする預金特化型店舗に移行します。窓口での預金業務は従来どおり変更はありませんが、融資に関しては本店対応となりますのでご承知おきください。詳しくは江部乙支店、本店業務部（22-1115）へお問い合わせください。



協会けんぽの加入者・事業主の皆さまへ

令和6年3月分（4月納付分）からの 保険料率のお知らせです 北海道支部の健康保険料率は 変更 となります！

令和6年2月分(3月納付分)まで
給与・賞与の

10.29%



令和6年3月分(4月納付分)から
給与・賞与の

10.21%

介護保険料率も 変更 となります

令和6年2月分(3月納付分)まで給与・賞与の 1.82% → 令和6年3月分(4月納付分)から給与・賞与の 1.60%

※健康保険料と介護保険料は労使折半となります。※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。※賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。※任意継続被保険者の方は、令和6年4月分の保険料率から変更となります。

【お問い合わせ先】 全国健康保険協会 北海道支部 TEL 011-726-0352

〒001-8511 札幌市北区北10条西3丁目23-1 THE PEAK SAPPORO 3階

保険料率についての
特設サイトはこちら



乙なNEWS

江部乙商工会に感謝状が贈呈されました！



12月8日（金）、日本政策金融公庫札幌北支店の鈴木支店長が江部乙商工会を訪れ、制度創設50周年を迎えた小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経）の普及及び推進に尽力した功績を讃え、船奥会長へ感謝状を手渡しました。

江部乙あかりものがたりが開催されました！

2月11日（日）、まちづくりコミュニティ行動隊が主催する第11回江部乙あかりものがたりがJR江部乙駅周辺を会場に開催され、訪れた多くの市民が幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

当日は、地域住民や國學院大学北海道短期大学の学生など多くのボランティアが約2,000個の紙袋ランタンを並べ、午後4時30分から次々と火が灯されると会場が淡く優しい灯りが広がりました。会場にはキッチンカーや模擬店が並び、来場者に温もりを提供したほか、江部乙ライオンズクラブが花火を打ち上げ、冬の夜空に大輪の花を咲かせました。



空知管内商工会連合会設立60周年記念式典が開催されました！



1月10日（水）、岩見沢市の平安閣で北海道空知管内商工会連合会設立60周年記念式典が開催されました。

式典では、北海道空知管内商工会連合会の吉住会長（沼田町商工会長）が式辞を述べたあと、出席の歴代商工会長に感謝状が贈呈されました。引き続き行われた祝賀会では、民謡集団「翼声会」の皆さんによるアトラクションが行われ、苫小牧市、北広島市、厚真町などから集結したした民謡コンクール優勝者など選りすぐりのメンバーたちが素晴らしい演奏を披露し、祝賀会に彩りを添えました。

道内の中小・小規模企業の皆様へ

デジタル技術導入補助金

ご案内

中小・小規模企業 省エネ・デジタル環境整備緊急対策事業費補助金(デジタル技術導入)

物価高騰や人手不足等の影響を受けている道内中小・小規模企業等の業務効率化や生産性向上等のため、デジタル技術導入による経営改善の取り組みを支援します。

公募期間 **2024年2月26日[月]~4月15日[月]** ※当日消印有効

申請方法 **郵送申請** または **電子申請** 3月上旬スタート予定

※お問合せや書類の追加出向がスムーズな電子申請をご利用ください。下記専用ホームページから電子申請ができます。申請書の書き方が分からない場合は、申請の手引きをご確認いただき、下記コールセンターにご相談ください。

補助対象者	中小・小規模企業者等 ^{※1}	
要件 ^{※2}	2022年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月の合計売上高(又は付加価値額)が、2019年から2021年の同3か月の合計売上高(又は付加価値額)と比較して 10%(付加価値額の場合は15%)以上減少 していること	2022年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月の合計売上高(又は付加価値額)が、2019年から2021年の同3か月の合計売上高(又は付加価値額)と比較して 20%(付加価値額の場合は25%)以上減少 していること
補助率	1/2以内	3/4以内
補助上限額	200万円 (下限10万円)	
対象経費	経営改善に資するデジタル技術導入に係る経費	

デジタル技術導入補助金事務局

専用ホームページはこちら

コールセンター **TEL:011-350-7140**
[受付時間: 平日 9:00~17:30]

専用ホームページ <https://digital-support-hokkaido.jp/>

※本事業は、北海道の補助事業により「中小・小規模企業省エネ・デジタル環境整備緊急対策事業費補助金(デジタル技術導入)」実施コンソーシアムが事務局となり、実施するものです。

会員インタビュー 8

Company&keyperson

いろいろなアクションを起こして地域の活性化を！

今年1月に社長に就任、2月15日には滝川市役所11階に「みんなの食堂」をオープンさせた高橋社長にこれからの展望、江部乙への思いなどについて伺いました。



株式会社 竹中組

たかはし たかこ

代表取締役 高橋 貴子

PROFILE

1962年(S37)滝川市生まれの62歳。中学2年生のときに岐阜県土岐市から滝川市に戻り地元で就職。1991年(H3)には美唄市で設備会社を起業、2001年(H13)には建設業に参入した。砂川市でのレストラン経験を活かして市役所11階で「みんなの食堂」をオープンさせた。今年2月より株式会社竹中組の代表取締役に就任し、江部乙地区の活性化にも意欲を見せる。

一ご出身、ご家族は？

高橋：滝川市で生まれ、中学2年まで陶器のまちとして有名な岐阜県土岐市に住んでいました。陶器のはね品が山積みになっていたので、高級そうなものを拾ってままとセットにしていた思い出があります(笑) 父親は留萌の呉服問屋の出で、自身も札幌市役所を辞めて滝川で不動産業を営んでいました。代々商売の家系なので滝川で商売をやってほしいという話は聞かされましたが、いろいろな仕事を体験したい、自分ができることを目指して行きたいという気持ちは強かったので、必ず滝川で商売する人間になると断言した中学3年生でした(笑)

一これまでの職歴は？

高橋：学歴偏重の父への反発もあり高校を中退して、高林デパートに出店していた札幌パりに就職しました。面接でアピールした販売力で当時としてはかなりの高給をいただき、それが自信になりましたし、父も認めてくれるようになりましたね。結婚して子育てが終わった1991年(H3)に美唄市で設備会社を起業し、2001年(H13)に同じく美唄市で建設業を始めました。2014年(H26)に砂川の高齢者施設建設の依頼があって砂川市に拠点を移したんです。

一竹中組を引き継ぐ経緯は？

高橋：建設業が忙しくなり、お客様のもとを訪ねるアフターケアができなくなったとき、お客様から「料理ができるんだしレストランをやったらあなたが来なくても行くから」と言ってくれるようになって、1グループ入れればほかの予約は受けないというレストランを経営して好評をいただきました。そこが新型コロナ

で営業ができなくなったとき、レストランの常連だった竹中会長の亡くなった奥様のご両親から会社を手伝ってあげてほしいとの話を伺い、その後、竹中会長からも話があったのでまずは1週間という話から今に至っています(笑)

一市役所食堂に参入したのは？

高橋：食堂がなくなるという記事を見て寂しいなと思ったんです。市役所が色々なところへ枝葉を伸ばして地域を守っていくので、そこに働く人たちに食堂が必要だし、自分もレストランを辞めて道具はあるんだからやればいいんじゃないの？と自分に問いかけたのがきっかけです。

若い人たちが市役所に定着して頑張ってもらうためにも食堂は大事だと思っています。地元生産者との連携や無農薬野菜の活用など利用する皆様の健康にも役立ちたいですね。

一ハンドメイド展にも力を？

高橋：料理も手作りもプロ級に好きなんです。特産品を作るところまでは至っていませんが、お客様とのパイプをもっと広げたいと思っていますし、参加する人がスキルアップして全国発信できればいいなと…。手作りのもので多少でも収入を得ることができる時代ですよ。

一今後の展望は？

高橋：新築軒数は半減していますがリフォーム部門が好調です。同じお金をいただくなら中身の違いを伝えてお仕事をいただく形にしたいですね。近い将来、空き家を民泊にして観光の中継地点にできたらと考えています。施設が整っていなくても噂さえあれば人は集まります。楽しいことは大好きなので時間の許す限り協力させてください。

司法書士による無料相談会

5月8日(水) 10:00~12:00

~隔月(奇数月)の第3水曜日(要予約)~

※5月は第2水曜日ですのでご注意ください

会場 江部乙商工会館

講師 木村幸一(司法書士・行政書士)

内容 登記、少額訴訟、会社設立、相続その他

編集後記



2月18日、南地区青少年育成会主催のスノーバスケット大会が初開催され、江部乙地区青少年育成会の役員とともに見学に行きました。美幌町発祥の新しい競技ですが、町民大会があったら盛り上がりそうですね。

事務局長 森 昌之